

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	Web制作演習応用AⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	Web制作演習応用AⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	ほんの一手間で劇的に変わるHTML & CSSとWebデザイン 実践講座			出版社	SBクリエイティブ

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだHTMLとCSSの基礎をもとに、WEBデザイナーとして実践的な表現方法とコーディングを身につける				
到達目標	この授業の目標は、1年次で学んだHTMLとCSSの基礎を活かしながら、将来Webデザイナーとして活躍するための実践的なスキルを身につけることです。具体的には以下の点を重点的に学びます。 1. レスポンシブデザイン: 知識を使い、異なるデバイスや画面に合わせて適応するWebデザイン制作を学びます。 2. アクセシビリティ向上: Webコンテンツのアクセシビリティを高めるためのテクニックやガイドラインについて学びます。 3. エフェクトとアニメーション: ユーザーエクスペリエンスを向上させるためのエフェクトやアニメーションを実装する方法について学びます。				
評価基準	テスト:10% 小テスト:30% 提出物:40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	Web制作演習応用AⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	多田 浩規、他1名			実務経験	○
実務内容	Sler及び業務委託にてPG兼SEとして5年勤務した実務経験を基に、WEBデザイナーとして実践的な表現方法とコーディングについて教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	Web制作演習応用AⅠ 授業の目的や要点と全体の流れの説明
2	HTMLとCSSのお浸い-1	HTMLの基礎のお浸い
3	HTMLとCSSのお浸い-2	CSSの基礎のお浸い-1
4	HTMLとCSSのお浸い-3	CSSの基礎のお浸い-2
5	LPページ制作-1(レスポンシブ)	LP(ランディングページ)を制作しながら、シングルカラムページ制作について学ぶ

6	LPページ制作-2(レスポンス)	LP(ランディングページ)を制作しながら、効果的な背景とフォントについて学ぶ
7	LPページ制作-3(レスポンス)	LP(ランディングページ)を制作しながら、レスポンスデザイン(スマホ向け)について学ぶ-1
8	LPページ制作-4(レスポンス)、 小テスト	LP(ランディングページ)を制作しながら、レスポンスデザイン(スマホ向け)について学ぶ-2 小テスト
9	CSS表現テクニック-1	CSSで画像とテキストを互い違いに表示させる方法を学ぶ
10	CSS表現テクニック-2	CSSでページ内の動きに変化させる方法を学ぶ
11	CSS表現テクニック-3	CSSのブレンドモードで画像とテキストの色味を変える方法を学ぶ-1
12	CSS表現テクニック-4、 小テスト	CSSのブレンドモードで画像とテキストの色味を変える方法を学ぶ-2 小テスト
13	CSSアニメーション基礎-1	動くWebデザインの基礎知識、jQueryの基本とCSSアニメーションの基本とスライドショー
14	振り返り	Web制作演習応用AⅠの総括として確認を行う
15	総まとめ	前期のまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	Web制作演習応用AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	Web制作演習応用AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	これからのJavaScriptの教科書			出版社	SBクリエイティブ

科目の基礎情報②

授業のねらい	現代の開発現場における典型的なコーディングパターンに沿った実践的なスキルを身につける				
到達目標	Web開発で頻繁に使用される、文字列処理、配列、オブジェクト、関数、非同期処理といったプログラミング実装ができるようにする				
評価基準	テスト:30% 小テスト:30% 提出物:40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	Web制作演習CⅠ、CⅡ、Web制作演習応用AⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	多田 浩規、他1名			実務経験	○
実務内容	Sler及び業務委託にてPG兼SEとして5年勤務した実務経験を基に、WEBデザイナーとして表現方法の応用とより高度なコーディングについて教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Chapter 1 JavaScriptプログラミングの基本	JavaScriptの基本的な文法と書き方
2	Chapter 2 変数・定数	変数・定数について - var, let, const
3	Chapter 3 データ型と演算子	プリミティブ型のデータ型とその特徴
4	Chapter 4 制御構造	条件分岐, 繰り返し文について
5	Chapter 5 関数	関数定義、スコープ、引数を渡す、返り値を返す
6	Chapter 6 数値と計算	Numberオブジェクト、文字列に型変換、Math オブジェクト、Date オブジェクト
7	Chapter 7 文字列の操作	Stringオブジェクト、正規表現パターンの書き方
8	Chapter 8 配列・オブジェクト	配列に値を追加する・削除する・変更する、新しい配列を作成する。オブジェクト作成について

9	中間 小テストの実施	1 - 8回の授業の習熟度を図る実技テストを実施する
10	jQueryの基礎・プラグイン組み込み	jQueryプラグインの組み込み方の基礎を行う
11	jQueryプラグイン：ページ制作演習	jQueryプラグインを使ったページ制作実習を行う（フォトギャラリーなど）
12	CSSフレームワーク基礎	BootstrapなどのCSSフレームワークの使い方の基礎を解説
13	CSSフレームワーク：ページ制作演習	CSSフレームワークを使ったページ制作の演習を実施
14	学期末テストの実施	学期末のテストを実施する
15	学期末テストの問題解説	学期末テストの問題の答え合わせ・解説・合評の実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	Web制作演習応用BⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	Web制作演習応用BⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	1冊ですべて身につくWordPress入門講座 独習PHP			出版社	SBクリエイティブ 翔泳社

科目の基礎情報②

授業のねらい	WordPressの基本操作を身につけWordPressを用いたWebページ制作を学ぶ。 PHPの基礎を学び、WordPressのカスタマイズの方法を知る。				
到達目標	WordPressを利用したWebページの制作を身につける。 PHPの基礎を身につける。				
評価基準	テスト:30% 小テスト:30% 提出物:40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	Web制作演習応用BⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	多田 浩規、他1名			実務経験	○
実務内容	Sler及び業務委託にてPG兼SEとして5年勤務した実務経験を基に、WordPressの基本操作やPHPの基礎を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	Web制作演習応用BⅠ 授業の目的や要点と全体の流れの説明
2	WordPressの基本知識-1	HTML/CSSの復習とWebサイトとWordPressの基礎知識を学ぶ
3	WordPressの基本知識-2	HTML/CSSの復習とWordPressを使うための基礎知識を学ぶ
4	PHPの基礎-1	PHPの基本構文、変数、定数、データ型、配列、型の相互変換 - 小テスト
5	PHPの基礎-2	PHPの演算子、制御構文 - 小テスト
6	PHPの基礎-3	PHPの組み込み関数 - 小テスト
7	サーバーへWordPressインストール	サーバーのコントロールパネル操作とWordPressのインストール方法を学ぶ
8	WordPressの基本操作1	WordPressの管理画面の基本操作を学ぶ - 記事投稿、見出し本文、リンク、画像
9	WordPressの基本操作2	ブロック並び替え、固定ページ、プラグイン

10	WordPressオリジナルテーマ開発1	WordPressを用いたWebページテーマのカスタマイズ方法を学ぶ-1
11	WordPressオリジナルテーマ開発2	WordPressを用いたWebページテーマのカスタマイズ方法を学ぶ-2
12	WordPressオリジナルテーマ開発3	WordPressを用いたWebページテーマのカスタマイズ方法を学ぶ-3
13	WordPressオリジナルテーマ開発4 プレゼンテーション準備	WordPressオリジナルテーマ制作演習・プレゼン資料制作
14	WordPressオリジナルテーマ開発5 プレゼンテーション	各自完成したWordPressサイトのプレゼンテーションを行う
15	WordPressオリジナルテーマ開発6 総まとめ	プレゼンテーションの合評と授業振り返りを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	Web制作演習応用BⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	Web制作演習応用BⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	WordPressオリジナルテーマ制作入門		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	前期に学んだプログラミングスキルのPHP基礎とWordPressの基礎を踏まえ、さらなるスキルアップを目指し、WordPressにてオリジナルテーマを使ったWebページを制作する。				
到達目標	WordPress操作の応用を身につけWordPressを用いたWebページを制作する。 PHPの基礎を身につけ、WordPressのカスタマイズ方法を学ぶ。				
評価基準	テスト：30% 小テスト：30% 提出物：40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	Web制作演習応用BⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	多田 浩規、他1名			実務経験	○
実務内容	Sler及び業務委託にてPG兼SEとして5年勤務した実務経験を基に、PHP基礎とWordPressの基礎を踏まえ、WordPressにてWebページを制作方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	Web制作演習応用BⅡ 授業の目的や要点と全体の流れの説明
2	WordPress操作のお渡し-1	サーバーへのインストール方法、WordPressの基本操作のお渡し
3	WordPress操作のお渡し-2	WordPressの管理画面操作、固定ページ編集方法のお渡し
4	WordPressのオリジナルテーマ制作-1	WordPressのテーマ作成に必要な基礎知識を学ぶ
5	WordPressのオリジナルテーマ制作-2	WordPressのオリジナルテーマの開発環境を準備する方法を学ぶ-1
6	WordPressのオリジナルテーマ制作-3	WordPressのオリジナルテーマの開発環境を準備する方法を学ぶ-2
7	WordPressのオリジナルテーマ制作-4	WordPressの最小のテーマを作成しWordPressに認識させる方法を学ぶ
8	WordPressのオリジナルテーマ制作-5	WordPressの基本となるテンプレートファイルの制作方法を学ぶ-1
9	WordPressのオリジナルテーマ制作-6	WordPressの基本となるテンプレートファイルの制作方法を学ぶ-2

10	WordPressのオリジナルテーマ制作-7	WordPressのテーマの利便性を向上させる方法を学ぶ
11	WordPressのオリジナルテーマ制作-8	WordPressのテーマをブロックエディターに対応させる方法を学ぶ-1
12	WordPressのオリジナルテーマ制作-9	WordPressのテーマをブロックエディターに対応させる方法を学ぶ-2
13	プレゼンテーション	完成したWebページのプレゼンテーションを行う
14	プレゼンテーション	Webページの修正を行う
15	総まとめ	前期・後期の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	グラフィック演習応用AⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	グラフィック演習応用AⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	トレース&模写で学ぶデザインのドリル			出版社	ソシム

科目の基礎情報②

授業のねらい	デザイナーのトレースや模写を通して「理由」や「意図」を理解し、デザインの細部に気づく力を身につける				
到達目標	デザイナーが作ったデザインレイアウトの反復練習を行ったのち、自身の作品において意味のあるレイアウトが組める				
評価基準	自由作品（作品30%+発表20%）、提出物30%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	グラフィック演習応用AⅡ				
備考	原則、この授業は対面授業にて実施する。				
担当教員	藤田 倫央			実務経験	○
実務内容	出版社や広告制作会社、フリーランスでグラフィックデザイナーとして20年以上勤務をした実務経験を基に、基本的な動画編集技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	構成（初級）	写真展のチラシ、不動産会社のチラシ、キャンペーンのDM
2	構成（初級）	結婚式の招待状、ドーナツ屋のポスター、観葉植物専門店のDM
3	色	美容クリニックのバナー、バレンタインのポスター、フリーマーケットのチラシ
4	色	スイーツショップの店頭POP、眼鏡店のショップカード、スキンケア用品の店頭POP
5	文字	セール告知のDM、イベントのチラシ、キャンペーンのバナー
6	文字	レストランのロゴ、キャンペーンのロゴ、パン屋のポスター
7	文字、写真	飲料メーカーのポスター、桜祭りのチラシ、フリーマガジンの表紙
8	写真	旅行代理店のポスター、スイーツ店のチラシ、カフェ新規開店のDM、
9	写真、構成（上級）	日本茶専門店のショップカード、ヘアサロンのDM、雑誌の特集記事

10	構成（上級）	映画のチラシ、レストランのメニュー、ヨガ教室のチラシ
11	自由課題制作	テーマは自由課題、規定課題、どちらか選択して制作
12	自由課題制作	
13	自由課題制作	
14	発表	評価をお互いに行えるよう、評価項目を決め、各自に書いてもらい提出する
15	発表、まとめ	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	グラフィック演習応用AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	グラフィック演習応用AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	パンフレットなど、ページ物印刷の制作技術を身につける				
到達目標	WEBデザイン・IT科ミリョクまるわかりBOOK SCHOOL GUIDE 2024を教科書とし、新しい提案を入れたパンフレットをグループで制作し、発表する				
評価基準	グループ作品（作品50%＋発表30%）、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	グラフィック演習応用AI				
備考	原則、この授業は対面授業にて実施する。				
担当教員	藤田 倫央			実務経験	○
実務内容	出版社や広告制作会社、フリーランスでグラフィックデザイナーとして20年以上勤務した実務経験を基に、デザイナーのトレースや模写を通し「理由」や「意図」を理解し、デザインの細部に気づく力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	現パンフレット考察	現在のパンフレットを読み込み、内容、レイアウト、デザインなど良い点、足りない点を洗い出す
2	コンセプト、企画	現パンフレットをふまえ、自分たちが思う新しいパンフレットを考え、次回まとめて発表
3	新企画について各グループ発表	まとめたものを各グループ10分以内で発表、講師、及び他グループからも意見を出し合う
4	企画・撮影	制作に向けて、構成、原稿、撮影など必要に応じて手分けして実施
5	企画・撮影	
6	レイアウト、構成案	具体的な全ページのレイアウトを決定する
7	レイアウト、構成案	
8	制作	
9	制作	

10	制作	各グループごとに、手分けして制作に入る
11	制作	
12	制作	
13	発表最終準備	見本のプリントアウト、プレゼン資料、発表内容など最終確認する
14	発表	各グループ10分程度で発表、講師、及び他グループからも総評
15	発表、総まとめ	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画演習応用BⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画演習応用BⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	Premiere Pro 仕事の教科書 ハイグレード動画編集&演出テクニック		出版社	エムディエヌコーポレーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基本的な動画編集技術を身につける				
到達目標	Premiere Proの基本的な操作から、編集、書き出しまでできるようになる				
評価基準	提出物（自由課題50%＋教科書課題30%）、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	動画編集応用BⅡ、総合演習AⅠ、BⅠ、CⅠ、AⅡ、BⅡ、CⅡ				
備考	原則、この授業は対面授業にて実施する。				
担当教員	石川 達也 他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回ガイダンス、基礎知識編①	授業の目的、到達目標など、Premiere Proでお仕事をする前に、ワークフローの基本、編集の基本操作
2	基礎知識編②	ワークフローの基本
3	基礎知識編③	編集の基本操作
4	実践編①	テロップ
5		
6	実践編②	ビデオのカラー調整
7	実践編③	エフェクトを使った映像効果表現
8	実践編④	マスクを使った多彩な演出、複数カメラ撮影時のPremiere Pro編集術
9	実践編⑤	サクッとできて超効果的なコスバ最強「音編集」、プロなら知っておきたい書き出しの知識
10	作って学ぼう！①	構成の確認、仮編集

11	作って学ぼう！②	合成とテロップ入れ、BGMの挿入と調整
12	作品制作	動画編集に関する規定課題に取り組む
13	作品制作	動画編集に関する規定課題に取り組む
14	作品制作	動画編集に関する規定課題に取り組む
15	作品制作、まとめ	動画編集に関する規定課題に取り組む

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画演習応用BⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画演習応用BⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	3秒で心をつかむ ショート動画の作り方		出版社	玄光社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	撮影から編集まで、一つの作品として動画を完成させることができる		
到達目標	コンセプトに合わせた撮影ができ、動画を編集し発表する		
評価基準	グループ作品（作品20%+発表10%）、個人作品（作品30%+発表20%）、授業態度20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	グラフィック演習応用AⅠ、総合演習AⅠ、BⅠ、CⅠ、AⅡ、BⅡ、CⅡ		
備考	原則、この授業は対面授業にて実施する。		
担当教員	石川 達也 他1名	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初めての撮影	教科書に出てくる動画術をグループ（4、5人程度）で撮影（時間があれば編集まで）
2	野外撮影	教科書に出てくる動画術をグループ（4、5人程度）で撮影（時間があれば編集まで）
3	発表	1グループ5～8分程度で、撮った動画をグループごとに発表し意見交換
4	グループワーク制作企画	動画のコンセプト、構成などプランニングを考える
5	グループワーク制作撮影	プランニングに合わせて撮影
6	制作	編集作業
7	制作	編集作業、プレゼン資料準備
8	発表	1グループ5～8分程度で発表
9	個別課題制作企画	動画のコンセプト、構成などプランニングを考える
10	個別課題制作撮影	プランニングに合わせて撮影
11	制作	編集作業

12	制作	編集作業
13	制作、プレゼン準備	編集作業、プレゼン資料準備
14	発表	一人5～8分程度で発表、評価をお互いに行えるよう、評価項目を決め、各自に書いてもらい提出する
15	発表、まとめ	一人5～8分程度で発表、まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	卒業制作AⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	卒業制作AⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	2年間の集大成となる作品を制作することを通し、これまでに学んだ知識や技術を実践することができる。				
到達目標	・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る				
評価基準	提出物・制作物：60％ 授業態度：40％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅢⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	三品 優花 他1名			実務経験	○
実務内容	ウェブデザイナー講師として9年間勤務した実務経験を基に、作品制作を通しこれまでに学んだ知識や技術への実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的・概要説明
2	テーマ設定	制作テーマ・制作概要の設定
3	テーマ設定	制作テーマ・制作概要の設定
4	テーマ設定	制作テーマ・制作概要の設定
5	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
6	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
7	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
8	素材集め	制作に必要な素材を集める

9	素材集め	制作に必要な素材を集める
10	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
11	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
12	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
13	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
14	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
15	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	卒業制作AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	卒業制作AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	2年間の集大成となる作品を制作することを通し、これまでに学んだ知識や技術を実践することができる。				
到達目標	・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る				
評価基準	提出物・制作物：60％ 授業態度：40％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅢⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	三品 優花 他1名			実務経験	○
実務内容	ウェブデザイナー講師として9年間勤務した実務経験を基に、作品制作を通しこれまでに学んだ知識や技術への実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振り返りと修正	中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する
2	振り返りと修正	中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する
3	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
4	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
5	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
6	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
7	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
8	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める

9	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
10	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
11	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
12	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
13	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
14	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
15	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	卒業制作BⅠ		
必修選択	必修	(学則表記)	卒業制作BⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	2年間の集大成となる作品を制作することを通し、これまでに学んだ知識や技術を実践することができる。				
到達目標	・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る				
評価基準	提出物・制作物：40％ 中間発表：30％ 授業態度：30％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅢⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	三品 優花 他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	制作にあたって必要な準備を実施する
2	テーマ設定	制作テーマ・制作概要の設定
3	テーマ設定	制作テーマ・制作概要の設定
4	テーマ設定	制作テーマ・制作概要の設定
5	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
6	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
7	計画策定	制作スケジュール・制作工程の決定
8	素材集め	制作に必要な素材を集める

9	素材集め	制作に必要な素材を集める
10	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
11	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
12	発表準備	中間発表に向けて準備を行う
13	発表準備	中間発表に向けて準備を行う
14	中間発表	現段階での成果を発表する
15	中間発表	現段階での成果を発表する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	卒業制作BⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	卒業制作BⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	2年間の集大成となる作品を制作することを通し、これまでに学んだ知識や技術を実践することができる。				
到達目標	・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る				
評価基準	提出物・制作物：40％ プレ成果発表会での発表：30％ 授業態度：30％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅢⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	藤田 倫央、他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振り返りと修正	中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する
2	振り返りと修正	中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する
3	振り返りと修正	中間発表を踏まえ、今後どう修正していくか検討する
4	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
5	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
6	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
7	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
8	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める

9	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
10	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
11	作品制作	修正後のスケジュールを基に制作を進める
12	ブレ成果発表会の実施	本番を想定しリハーサルを実施する
13	ブレ成果発表会の実施	本番を想定しリハーサルを実施する
14	成果発表会に向けての準備	リハーサルを踏まえ修正を行う
15	成果発表会に向けての準備	リハーサルを踏まえ修正を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	卒業制作CⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	卒業制作CⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	2年間の集大成となる作品を制作することを通し、これまでに学んだ知識や技術を実践することができる。				
到達目標	・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る				
評価基準	提出物・制作物：60％ 授業態度：40％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅢⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 貴史			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、概要説明
2	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
3	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
4	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
5	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
6	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
7	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
8	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う

9	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
10	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
11	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
12	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
13	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
14	制作・発表準備	成果発表会に向けて準備を行う
15	まとめ	作品の提出及び振り返りを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	卒業制作CⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	卒業制作CⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	2年間の集大成となる作品を制作することを通し、これまでに学んだ知識や技術を実践することができる。				
到達目標	・在学期間中学んだことを活かし自らテーマ設定し、テーマに沿った作品を制作できる ・スケジュールの管理を行うことが出来る ・展示方法も含め、質の高い作品を制作することが出来る				
評価基準	提出物・制作物：40％ 成果発表会での発表：30％ 授業態度：30％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	キャリアサポートⅢⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 梨絵			実務経験	○
実務内容	一般企業にてWEBデザイナーとして14年勤務した経験を基に、作品制作を通しこれまでに学んだ知識や技術への実践力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、概要説明
2	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
3	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
4	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
5	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
6	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
7	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
8	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める

9	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
10	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
11	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
12	作品制作	スケジュールに基づき制作を進める
13	成果発表会	成果発表会を実施する
14	成果発表会	成果発表会を実施する
15	まとめ	作品の提出および振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	資格対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	資格対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	2	30
使用教材	①令和07年 イメージ&クレバー方式でよくわかる かやのき先生のITパスポート教室 ②令和07年 かやのき先生のITパスポート教室準拠 書き込み式ドリル			出版社	技術評論社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ITパスポートの合格を目指すと同時に情報処理の基本知識を「浅く広く」学び、職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を習得する。				
到達目標	ITパスポートの資格取得に向けて、過去問題を解く対策をする前段階として、基本的な知識を身につける。				
評価基準	テスト50%、提出物20%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ITパスポート				
関連科目	総合演習FⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	多田 浩規、他1名			実務経験	○
実務内容	SIer及び業務委託にてPG兼SEとして5年勤務した実務経験を基に、情報技術に関する基礎的な知識を習得するように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 ハードウェア	ITパスポート試験概要、授業内容の説明 情報に関する理論、コンピュータの構成とCPU、主記憶と補助記憶、半導体メモリ、入出力
2	第1章 ハードウェア	確率と統計、基数変換
3	第2章 ソフトウェア	ソフトウェア、ファイル管理、ファイルのバックアップ、ユーザインタフェース、マルチメディア、表計算
4	第3章 システム構成	コンピュータの形態、システム構成、システムの信頼性、システムの評価
5	第4章 ネットワーク	ネットワークの構成、無線LAN、通信プロトコル
6	第4章 ネットワーク	インターネットの仕組み、通信サービス、Webページ、電子メール
7	第5章 セキュリティ	情報資産と脅威、サイバー攻撃、情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント、利用者認証
8	第5章 セキュリティ	ネットワークセキュリティ、暗号化技術、デジタル署名と認証局

9	第6章 データベース	データベースとデータ操作、データベース設計、データの正規化、データの抽出と論理演算、データの整列と集計、トランザクション処理
10	第7章 アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムとデータ構造、疑似言語、プログラム言語とマークアップ言語
11	第8章 マネジメント	企画・要件定義と調達、システム開発、テスト手法と運用・保守、ソフトウェア開発手法、プロジェクトマネジメント
12	第8章 マネジメント	工程管理、ITサービスマネジメント、システム監査
13	第9章 企業活動と法務	財務諸表、損益分岐点と資産管理、知的財産権、セキュリティ関連法規、労働関連法規・取引関連法規、業務分析、データ利活用と問題解決、標準化
14	まとめ	まとめ
15	第10章 経営戦略とシステム戦略	企業活動、企業統治と内部統制、経営戦略、情報システム戦略と業務プロセス、マーケティング戦略、AI 等

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デザインスキル応用		
必修選択	選択	(学則表記)	デザインスキル応用		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	2	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	個人のポートフォリオサイトを企画・制作することを通しデザイン力を身につける				
到達目標	企画から制作までの段階を通し、ゴールを目指して作成することができる。 これまでの学びを総括した個人の強みを表現するWebサイトを制作できる。				
評価基準	制作物:60% プレゼンテーション:30% 授業態度:10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 梨絵			実務経験	○
実務内容	一般企業にてWEBデザイナーとして14年勤務した経験を基に、デザイン力が高まる知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	WEBサイト企画について 企画書の作成方法
2	ポートフォリオサイト制作-1	企画の立案、企画書作成
3	ポートフォリオサイト制作-2	企画の立案、企画書作成
4	ポートフォリオサイト制作-3	ラフ、ワイヤーフレーム、デザイン
5	ポートフォリオサイト制作-4	ラフ、ワイヤーフレーム、デザイン
6	ポートフォリオサイト制作-5	ラフ、ワイヤーフレーム、デザイン
7	中間発表	制作の進捗状況を発表
8	ポートフォリオサイト制作-6	デザイン、コーディング

9	ポートフォリオサイト制作-7	デザイン、コーディング
10	ポートフォリオサイト制作-8	デザイン、コーディング
11	ポートフォリオサイト制作-9	デザイン、コーディング
12	ポートフォリオサイト制作-10	プレゼンテーションの準備
13	ポートフォリオサイト制作-11	プレゼンテーションの準備
14	プレゼンテーション	ポートフォリオサイトの発表
15	総まとめ	授業内容の振り返りを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアサポートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアサポートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	2	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	・就職内定獲得に向けての試験対策 ・業界理解、受験までの流れの理解 ・社会人に向けての心構え、前向きなイメージを持つ				
到達目標	就職活動へ行く（身だしなみ・書類・面接・意欲等）ことができる 社会人として働くための基本的な心構えができている				
評価基準	発表点40％、提出物30％、授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	卒業制作AⅠ、卒業制作AⅡ、卒業制作BⅠ、卒業制作BⅡ、卒業制作CⅠ、卒業制作CⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	木村 一颯、他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・授業のねらいや目的を確認する
2	就職活動①	・目指す職業を明確にする ・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方を理解する
3	就職活動②	・目指す職業を明確にする ・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方を理解する
4	就職活動③	・目指す職業を明確にする ・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方を理解する
5	就職活動④	・就職活動状況の確認をする ・就職活動の具体的な計画を立てる
6	就職活動⑤	・就職活動状況の確認をする ・就職活動の具体的な計画を立てる
7	就職活動⑦	・自身が目指す就職先に応じた自己PRや志望動機を考える
8	就職活動⑧	・自身が目指す就職先に応じた自己PRや志望動機を考える

9	就職活動⑨	・自身が目指す就職先に応じた自己PRや志望動機を考える
10	グループ内発表	・自身の目指す職業や職種に求められるスキルや能力、考え方をまとめた資料を作成し、発表 ・実際に学生個人が作成した自己PR文や志望動機を発表
11	就職活動⑩	・実際の選考を想定した面接練習を行う為の準備を行う
12	就職活動⑪	・実際の選考を想定した面接練習を行う
13	就職活動⑫	・実際の選考を想定した面接練習を行う
14	就職活動⑬	・実際の選考を想定した面接練習を行う
15	前期振り返り	・学生自身が立てた就職活動の計画に対して、どの程度動くことができているかの確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアサポートⅣ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアサポートⅣ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	・就職内定獲得に向けての試験対策 ・業界理解、受験までの流れの理解 ・社会人に向けての心構え、前向きなイメージを持つ				
到達目標	就職活動へ行く（身だしなみ・書類・面接・意欲等）ことができる 社会人として働くための基本的な心構えができている				
評価基準	発表点40%、提出物30%、授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	卒業制作AⅠ、卒業制作AⅡ、卒業制作BⅠ、卒業制作BⅡ、卒業制作CⅠ、卒業制作CⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	木村 一颯、他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・現時点での就職状況を把握する ・後期のスケジュールを認識する
2	社会人になる前の心構え①	・社会人としての心構えを学ぶ
3	社会人になる前の心構え②	・社会人としての心構えを学ぶ
4	社会人になる前の心構え③	・社会人としての心構えを学ぶ
5	社会人になる前の心構え④	・社会人としての心構えを学ぶ
6	社会人になる前の心構え⑤	・社会人としての心構えを学ぶ

7	卒業展開催に向けて	・卒業展開催に向けた準備を行います ・運営準備についてはクラス内にグループを作り、グループ内での話し合いを基に行事を作り上げていきます
8	卒業展開催に向けて	
9	卒業展開催に向けて	
10	卒業展開催に向けて	
11	卒業展開催に向けて	
12	卒業展開催に向けて	
13	卒業展開催に向けて	
14	卒業展開催に向けて	
15	総まとめ	・2年間の振り返りを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	システム設計Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	システム設計Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	15
使用教材	Webディレクションの新・標準ルール 改訂第3版		出版社	エムディエヌコーポレーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	Webディレクション業務の基礎からプロジェクトマネジメント、クライアントへのヒアリングや要件定義、企画立案、サイト設計から運用までWebプロデューサー／ディレクターに必要な知識を身につける。		
到達目標	・ Webディレクション業務の環境や現場に合わせた進行管理を理解する。 ・ 企画立案、構造設計、コンテンツ設計について理解する。 ・ 企画書／ワイヤーフレーム作成方法を習得する。		
評価基準	テスト：60%、提出課題：20%、授業態度：20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	藤田 倫央	実務経験	○
実務内容	出版社や広告制作会社、フリーランスでグラフィックデザイナーとして20年以上勤務した実務経験を基に、Webディレクション業務の基礎から要件定義、企画立案、サイト設計から運用に必要な知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、到達目標など、Webディレクション基礎知識とは
2	Webディレクション基礎①	Web制作におけるトレンドと新技術、プロジェクトの工程管理を学ぶ
3	Webディレクション基礎②	Webサイトの代表的なパターンと目的、社内ディレクターの役割を学ぶ
4	Webディレクション基礎③	事業者と業務委託会社の担当範囲、個人情報保護について
5	Webサイト企画①	ヒアリング方法、企画の発想法とアイデアを練るテクニックを学ぶ
6	Webサイト企画②	UXについて学ぶ
7	Webサイト企画③	提案書、要件定義について学ぶ
8	Webサイト企画④、小テスト	工数の計算、概算見積りの作成と工程変更への対応、小テスト

9	企画立案①	クライアントワークを想定してWebサイトの企画書作成、提出
10	Webサイト設計①	設計フェーズにおけるワークフロー、メンバーの意識を高めるチーム作りを学ぶ
11	Webサイト設計②	タスクの構造化とスケジュール、フロー図について
12	Webサイト設計③	ワイヤーフレーム、コピライティングの方法を学ぶ
13	Webサイト設計④	プロトタイピングツール、デザインガイドラインの策定、SNSについて
14	前期試験	Webディレクション業務の基礎、プロジェクトマネジメント、Webサイトの企画・設計から出題
15	前期振り返り	試験回答返却・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	システム設計Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	システム設計Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	15
使用教材	Webディレクションの新・標準ルール 改訂第3版		出版社	エムディエヌコーポレーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	Webディレクション業務の基礎からプロジェクトマネジメント、クライアントへのヒアリングや要件定義、企画立案、サイト設計から運用までWebプロデューサー／ディレクターに必要な知識を身につける。		
到達目標	・ Webディレクション業務の環境や現場に合わせた進行管理を理解する。 ・ 企画立案、構造設計、コンテンツ設計について理解する。 ・ 企画書／ワイヤーフレーム作成方法を習得する。		
評価基準	テスト：60%、提出課題：20%、授業態度：20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	藤田 倫央	実務経験	○
実務内容	出版社や広告制作会社、フリーランスでグラフィックデザイナーとして20年以上勤務した実務経験を基に、Webディレクション業務の基礎から要件定義、企画立案、サイト設計から運用に必要な知識を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Webサイト設計⑤	システム設計、SEO設計、Web制作のフレームワークとは
2	Webサイト設計⑥	CMS、ECカート、MAツールについて学ぶ
3	Webサイト設計⑦	クラウドサービス、開発環境、Webサイトにおけるテスト設計とは
4	設計立案①	前期の企画立案①②で作成した企画書に基づいてワイヤーフレームの作成
5	設計立案②、課題提出	前期の企画立案①②で作成した企画書に基づいてワイヤーフレームの作成、提出
6	制作マネジメント①	コミュニケーション、スケジュールの管理、制作マニュアルについて学ぶ
7	制作マネジメント②	リモート環境でのデータ管理ツール、進捗管理について
8	制作マネジメント③	プロジェクト内容の確認や現場の状況変化に合わせた対応を学ぶ

9	制作マネジメント④、小テスト	テストを効率化するツール、Webサイトの公開、小テスト
10	Webサイトの運用①	社内マネジメント、ヒューマンエラーについて学ぶ
11	Webサイトの運用②	ノーコードツール、企業SNS運用、動画マーケティングについて学ぶ
12	Webサイトの運用③	PDCAサイクル、Web解析ツール、Googleの解析ツールについて
13	Webサイトの運用④	問題課題、リニューアル、制作会社の移管について
14	前期試験	Webサイトの企画・設計、制作マネジメント、Webサイトの運用から出題
15	前期振り返り	試験回答返却・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	プロジェクトマネジメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロジェクトマネジメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	15
使用教材	プロジェクトマネジメントの基本が全部わかる本			出版社	翔泳社

科目の基礎情報②

授業のねらい	プロジェクトマネジメントの基本的な知識を習得し実践できるようになる				
到達目標	プロジェクトマネジメントを実践できるようになるを理解する。 プロジェクト・マネージャーの役割および作業手順を理解する。				
評価基準	テスト:20% 授業態度:40% 実演:40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	PMP®(プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル) 資格				
関連科目	プロジェクトマネジメントⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	亀山 寿人 他1名			実務経験	○
実務内容	企業にてSEとして3年勤務した実務経験を基に、プロジェクトマネジメントの基本的な知識を習得・実践できるように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロジェクトマネジメントとはなにか	プロジェクトの特性や成功、リスク。プロジェクトマネジメントの役割
2	交渉	交渉がなぜ必要かを理解
3	タスクマネジメント	タスクマネジメントの考え方、プロジェクトを効率的に進める手順
4	プロジェクト計画	プロジェクトの方向性、計画の立て方、QCDの考え方
5	見積り	見積りの考え方、概算見積りと詳細見積りの使い分け
6	契約	プロジェクトに合った契約、リスク、発生しやすいトラブルとその対処法
7	要件定義	要件定義の進め方、ビジネス要件とシステム要件のとりまとめ方
8	デザイン	ペルソナ設計、ビジュアル・アイデンティティ設計の注意点
9	設計	設計の考え方と進め方

10	総まとめ	適切なテストの考え方と進め方
11	リリース	リリース計画の考え方と進め方、作成方法、トラブルを想定した計画と体制の立て方
12	保守改善	プロジェクトの費用対効果の判断基準と売り上げの考え方
13	テスト	交渉から保守改善までの基本的な知識が理解できているかテストを行う
14	プロジェクトの実演	仮想のプロジェクトを設けグループワークを行う
15	振り返り	テストやシミュレーションの振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	プロジェクトマネジメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロジェクトマネジメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	15
使用教材	図解即戦力 PMBOK第6版の知識と手法がこれ1冊でしっかりわかる教科書			出版社	技術評論社

科目の基礎情報②

授業のねらい	プロジェクトマネジメントの基本的な知識を習得し実践できるようになる				
到達目標	プロジェクトマネジメントを実践できるようになるを理解する。 PMBOKの基礎を学習し、よりプロフェッショナルな知識をつける。				
評価基準	テスト:20% 授業態度:40% 実演:40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	PMP®(プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル) 資格				
関連科目	プロジェクトマネジメントⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式または同時双方向型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	亀山 寿人 他1名			実務経験	○
実務内容	企業にてSEとして3年勤務した実務経験を基に、プロジェクトマネジメントの基本的な知識を習得・実践できるように教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロジェクトの基本	プロジェクトの種類、構成要素、プロジェクトに関する事項について
2	PMBOKの基本	PMBOK Guideに沿ったプロジェクトマネジメントに必要な基本事項について
3	10の知識エリア	各知識エリアに含まれたプロセスの役割について
4	プロジェクトの立ち上げ	プロジェクト憲章、ステークホルダー登録簿について
5	プロジェクトの計画①	要求事項の収集からアクティビティ定義、プロジェクトスケジュール設定、コストベースライン設定について
6	プロジェクトの計画②	リスクについて、リスクマネジメント活動・特定・分析・対応方法について
7	プロジェクトの計画③	調達の計画、プロジェクトマネジメント計画書の設定、キックオフ会議について
8	プロジェクトの実行	プロジェクト作業の進行、作業プロセスの確認、プロジェクトチームのマネジメント、納入者と契約を締結について
9	プロジェクトの監視・コントロール	予実の分析、提案された変更要求の審議、新しいリスクの特定と対応策の検討、コントロールプロセス群との関連性について

10	プロジェクトの終結	終結時に行うことについて
11	PMBOK第6版での主な変更点	各フェーズの変更点について
12	総まとめ	基本的な知識が理解できているかテストを行う
13	プロジェクトの実演①	仮想のプロジェクトを設けグループワークを行う
14	プロジェクトの実演②	仮想のプロジェクトを設けグループワークを行う
15	総まとめ・実演の振り返り	テストとグループワークの振り返りと質疑応答

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	社会人基礎力Ⅲ		
必修選択	必修	(学則表記)	社会人基礎力Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	2	30
使用教材	1日1トレで「声」も「話し方」も感動的に良くなる			出版社	日本実業出版社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスの場における良好な対人関係・環境を構築する力を身につける。				
到達目標	「話す」「聞く」といったコミュニケーションに関わる重要な要素を理解して、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションを取ることができる。				
評価基準	期末テスト:30% ロールプレイ・発表:30% 小テスト:20% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	寺迫 寛子 他1名			実務経験	○
実務内容	航空会社にて客室乗務員として11年勤務した実務経験を元に、ビジネスの場における良好な対人関係・環境を構築する力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ・到達目標について
2	コミュニケーションについて	気軽に話せる・声を出せる「マインド」を作る
3	第一印象	第一印象の重要性について
4	伝わる声①	挨拶をする時の声の出し方について 笑顔の重要性について
5	伝わる声②	聞き取りやすい声について
6	伝わる声③	語尾まではっきり話す重要性について 滑舌について
7	伝わる声④	抑揚と声の質について
8	分かりやすい話し方①	シンプルな文章について
9	分かりやすい話し方②	間の取り方について

10	話の組み立て方①	前提条件を揃えること、話のテーマを伝えることの重要性について
11	話の組み立て方②	主語について
12	会話①	会話を続けるためのポイントについて
13	会話②	表現の幅を広げるポイントについて
14	期末総まとめ	期末テストの実施
15	総まとめ	期末テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	社会人基礎力Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	社会人基礎力Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	2	30
使用教材	1日1トレで「声」も「話し方」も感動的に良くなる			出版社	日本実業出版社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビジネスの場における良好な対人関係・環境を構築する力を身につける。				
到達目標	「話す」「聞く」といったコミュニケーションに関わる重要な要素を理解して、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションを取ることができる。				
評価基準	期末テスト:30% ロールプレイ・発表:30% 小テスト:20% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	寺迫 寛子 他1名			実務経験	○
実務内容	航空会社にて客室乗務員として11年勤務した実務経験を基に、ビジネスの場における良好な対人関係・環境を構築する力を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 前期の復習	授業の流れ・到達目標について 前期の復習
2	論理的な伝え方①	分かりやすい話し方について
3	論理的な伝え方②	説得力のある話し方について
4	簡潔な話し方	簡潔な話し方について
5	印象が良くなる話し方①	語尾の重要性について
6	印象が良くなる話し方②	早口が相手に与える印象について
7	印象が良くなる話し方③	話の終わり方について
8	印象が良くなる話し方④	肯定的な話し方について
9	好感を持たれる聴き方	あいづちについて

10	話の魅せ方①	姿勢について
11	話の魅せ方②	アイコンタクトについて
12	話の魅せ方③	自分の癖を把握することの重要性について
13	話の魅せ方④	表情管理について
14	期末総まとめ	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践AⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践AⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	PremiereProよくばり入門改訂版			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	Adobe Premiere Proの操作とカット編集の技術を活用し、基本的な動画編集ができるようになる。		
到達目標	Premiere Proの操作方法を習得する。 素材の読み込みから書き出しまでの一連の流れを実行できるようになる。 カット編集技術を使用してオリジナル素材を使用した15秒程度の動画を制作できるようになる。		
評価基準	小テスト：40％ 期末課題：60％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	動画演習応用BⅠ・BⅡ、動画編集実践AⅡ・BⅠ・BⅡ・CⅠ・CⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	吉村 友希	実務経験	○
実務内容	e-sportsチームで動画編集者として2年間勤務した実務経験を基に、基本的な動画編集の技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	Premiere Proの概要と動画制作の流れ
2	演習	プロジェクトの作成とワークスペース
3	演習	編集画面の基本操作
4	演習	素材の読み込みとビンの整理
5	演習	タイムラインでのクリップ配置
6	演習	動画のプレビューと基本的な書き出しと保存
7	小テスト	基本操作の確認課題
8	演習	カット編集の基礎

9	演習	クリップの分割と結合
10	演習	クリップの挿入と置き換え、オーバーレイとトラック管理
11	演習	エフェクトについて
12	期末課題①	動画企画・素材準備
13	期末課題②	動画編集①
14	期末課題③	動画編集②
15	期末課題④	発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	PremiereProよくばり入門改訂版			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	前期で習得した基礎技術を活かし、プロモーション動画制作を通じて実践的な編集技術を身につける。				
到達目標	複数クリップを効果的に構成できるようになる。 スピード調整などの応用編集ができるようになる。 1分程度のプロモーション動画を制作できるようになる。				
評価基準	小テスト：40%、提出物：60%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	動画演習応用BⅠ・BⅡ、動画編集実践AⅠ・BⅠ・BⅡ・CⅠ・CⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	吉村 友希			実務経験	○
実務内容	e-sportsチームで動画編集者として2年間勤務した実務経験を基に、実践的な編集技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	応用演習	前期の基本編集技術の復習
2	応用演習	ソースモニターでの詳細編集
3	応用演習	複数クリップの同期
4	応用演習	インサートクリップの活用
5	応用演習	カメラ切り替えの基本
6	応用演習	小テスト①：応用編集課題
7	実践演習	スピード調整の基礎
8	実践演習	タイムリマップの活用

9	実践演習	プロモーション動画の基礎
10	実践演習	プロモーション動画の構成
11	実践演習	期末課題：プロモーション動画企画
12	総合演習	期末課題：プロモーション動画制作①
13	総合演習	期末課題：プロモーション動画制作②
14	総合演習	期末課題：プロモーション動画制作③
15	総合演習	期末課題：発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践BⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践BⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	PremiereProよくばり入門改訂版			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	Adobe Premiere Proのエフェクト、テキスト、音声の基本的な編集技術を習得し、表現力のある動画制作ができるようになる。		
到達目標	基本的なエフェクトやトランジションを適切に使用できるようになる。 テキストや図形を効果的に配置できるようになる。 BGMと効果音を適切に組み合わせた30秒程度の動画を制作できるようになる。		
評価基準	小テスト：40％ 期末課題：60％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	動画演習応用BⅠ・BⅡ、動画編集実践AⅠ・AⅡ・BⅡ・CⅠ・CⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	木谷 哲	実務経験	○
実務内容	テレビ局で情報番組のディレクターとして40勤務をした実務経験を基に、表現力のある動画制作技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	基礎演習	素材管理とフォルダー構成
2	基礎演習	エフェクトの基礎概念
3	基礎演習	フェードイン/アウトの設定
4	基礎演習	基本的なトランジション
5	応用演習	カラー補正の基礎
6	応用演習	ホワイトバランスの調整
7	応用演習	小テスト①：エフェクト活用課題
8	基礎演習	タイトルの作成

9	応用演習	図形の活用
10	応用演習	BGMの追加と音量調整
11	応用演習	タイトルアニメーションの基礎
12	総合演習	期末課題：自己PR動画企画・素材準備
13	総合演習	期末課題：自己PR動画編集①
14	総合演習	期末課題：自己PR動画編集②
15	総合演習	期末課題：発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践BⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践BⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	PremiereProよくばり入門改訂版			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	Adobe Premiere Proの音声編集とレシピ動画制作を通じて、目的に応じた効果的な動画編集技術を習得する。		
到達目標	音声とBGMを効果的にミックスできるようになる。 テキストや字幕を適切に作成できるようになる。 2分程度のレシピ動画を制作できるようになる。		
評価基準	小テスト：40%、提出物：60%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	動画編集実践CⅡ、動画編集応用BⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	木谷 哲	実務経験	○
実務内容	テレビ局で情報番組のディレクターとして40勤務をした実務経験を基に、効果的な動画編集技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	応用演習	前期のエフェクト技術の復習
2	応用演習	エッセンシャルサウンドの活用
3	応用演習	オーディオミックスの基礎
4	応用演習	リミックスツールの活用
5	応用演習	自動文字起こしとキャプション
6	応用演習	小テスト①：音声・テキスト編集課題
7	実践演習	レシピ動画の構成
8	実践演習	レシピ動画の素材配置

9	実践演習	レシピ動画のテキスト作成
10	実践演習	レシピ動画のBGM設定
11	実践演習	期末課題：レシピ動画企画
12	総合演習	期末課題：レシピ動画制作①
13	総合演習	期末課題：レシピ動画制作②
14	総合演習	期末課題：レシピ動画制作③
15	総合演習	期末課題：発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践CⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践CⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	After Effects よくばり入門			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	After Effectsの基本操作とモーショングラフィックスの基礎技術を習得し、基本的なアニメーション制作ができるようになる。				
到達目標	After Effectsの基本的な操作方法を習得する。 キーフレームを使用した基本的なアニメーションが作成できるようになる。 テキストやシェイプを使用した15秒程度のタイトルアニメーションを制作できるようになる。				
評価基準	小テスト：40％ 期末課題：60％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	動画演習応用BⅠ・BⅡ、動画編集実践AⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ・CⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	吉村 友希			実務経験	○
実務内容	e-sportsチームで動画編集者として2年間勤務した実務経験を基に、基本的なアニメーション制作技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	After Effectsの概要と基礎知識
2	基礎演習	動画の基本知識とプロジェクト作成
3	基礎演習	コンポジションの作成と編集画面
4	基礎演習	背景とテキストの作成
5	基礎演習	基本的なキーフレームアニメーション
6	基礎演習	シェイプの作成と基本アニメーション
7	応用演習	小テスト①：基本アニメーション課題
8	基礎演習	イージングとグラフエディター

9	応用演習	マスクの基本操作
10	応用演習	テキストアニメーター基礎
11	応用演習	アニメーションプリセット活用
12	総合演習	期末課題：タイトルアニメーション企画
13	総合演習	期末課題：タイトルアニメーション制作①
14	総合演習	期末課題：タイトルアニメーション制作②
15	総合演習	期末課題：発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践CⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践CⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	After Effects よくばり入門			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	After Effectsの応用的なアニメーション技法を習得し、目的に応じたモーショングラフィックスを制作できるようになる。				
到達目標	複雑なアニメーション効果を作成できるようになる。 エフェクトを効果的に活用できるようになる。 30秒程度のモーショングラフィックス作品を制作できるようになる。				
評価基準	小テスト：40％ 期末課題：60％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	動画編集実践AⅡ、動画編集実践BⅡ、動画演習応用BⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	吉村 友希			実務経験	○
実務内容	e-sportsチームで動画編集者として2年間勤務した実務経験を基に、目的に応じたモーショングラフィックスを制作技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	応用演習	前期の基礎技術の復習と確認
2	応用演習	手書き風アニメーション基礎
3	応用演習	モーフィングアニメーション
4	応用演習	エフェクトを使用した表現
5	応用演習	小テスト①：応用アニメーション課題
6	応用演習	プリコンポーズとレイヤー管理
7	実践演習	トランジション作成の基礎
8	実践演習	カラー調整の基本

9	実践演習	シネマティックタイトル基礎
10	実践演習	インフォグラフィック基礎
11	実践演習	期末課題：モーショングラフィックス企画
12	総合演習	期末課題：モーショングラフィックス制作①
13	総合演習	期末課題：モーショング
14	総合演習	期末課題：モーショングラフィックス制作③
15	総合演習	期末課題：発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践DⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践DⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	PremiereProとアフターエフェクトを作って学ぶ動画編集		出版社	SBクリエイティブ	

科目の基礎情報②

授業のねらい	Adobe Premiere Proの操作とカット編集の技術を活用し、基本的な動画編集ができるようになる。		
到達目標	Premiere Proを操作することができる。 素材の読み込みから書き出しまでの一連の流れを操作することができる。 カット編集技術を使用してオリジナル素材を使用した15秒程度の動画を制作することができる。		
評価基準	小テスト：40％ 期末課題：60％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	動画演習応用BⅠ・動画演習応用BⅡ・動画編集実践AⅠ・動画編集実践AⅡ・動画編集実践BⅠ・ 動画編集実践BⅡ・動画編集実践CⅠ・動画編集実践CⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	Premiere Proの概要と動画制作の流れ・絵コンテ制作①
2	演習	絵コンテ制作②
3	発表	絵コンテ・制作動画発表
4	演習	ハウツー動画制作
5	演習	動画編集①
6	演習	動画編集②
7	発表	発表と講評
8	演習	ストップモーション動画制作

9	演習	動画編集①
10	演習	動画編集②
11	発表	発表と講評
12	期末課題①	期末課題：自己PR動画 動画企画・素材準備
13	期末課題②	期末課題：自己PR動画 動画編集①
14	期末課題③	期末課題：自己PR動画 動画編集②
15	発表	発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	動画編集実践DⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	動画編集実践DⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	PremiereProよくばり入門 改訂3版			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	前期で習得した基礎技術を活かし、プロモーション動画制作を通じて実践的な編集技術を身につける。				
到達目標	複数クリップを効果的に構成できるようになる。 スピード調整などの応用編集ができるようになる。 1分程度のプロモーション動画を制作できるようになる。				
評価基準	小テスト：40%、期末課題：60%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	動画演習応用BⅠ・動画演習応用BⅡ・動画編集実践AⅠ・動画編集実践BⅠ・動画編集実践BⅡ・ 動画編集実践CⅠ・動画編集実践CⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	応用演習	前期の基本編集技術の復習
2	応用演習	ソースモニターでの詳細編集
3	応用演習	複数クリップの同期
4	応用演習	インサートクリップの活用
5	応用演習	ナレーションが入った動画制作①
6	応用演習	ナレーションが入った動画制作②
7	実践演習	ナレーションが入った動画制作③
8	実践演習	発表・講評

9	実践演習	プロモーション動画の基礎
10	実践演習	プロモーション動画の構成
11	実践演習	期末課題：プロモーション動画企画
12	総合演習	期末課題：プロモーション動画制作①
13	総合演習	期末課題：プロモーション動画制作②
14	総合演習	期末課題：プロモーション動画制作③
15	総合演習	期末課題：発表と講評

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	マクロ実践Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	マクロ実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	よくわかるマスター MOS Excel Expert MOS Excel 365 Expert 対策テキスト&問題集(よくわかるマスター)			出版社	FOM出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	PC基礎演習で身に着けた知識をもとに、ExcelのMOSExpertの実践的な資格対策を行う。		
到達目標	ExcelのMOSエキスパートの取得を目指す。Excelの高度な知識を身に着ける。		
評価基準	テスト50％　課題20％　平常点30％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者		
関連資格	MOS Excel Expert		
関連科目	マクロ実践Ⅱ、office応用Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	原田　貴史	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 出題範囲 1	授業内容の説明を行う。 1-1ブックを管理する。1-2共同作業のためのブックを準備する。 1-3言語をオプションの設定する。1-確認問題(P51)
2	出題範囲 2 ①	2-1既存のデータを使用してセルに入力する。 2-2データに表示形式や入力規則を適用する。
3	出題範囲 2 ②	2-3詳細な条件付き書式やフィルターを適用する。 2-確認問題(P93)
4	出題範囲 3 ①	3-1関数で論理演算を行う。 ネスト、AND、OR、NOT、OOIF、OOIFS
5	出題範囲 3 ②	3-2関数を利用してデータを検索する。 VLOOKUP、HLOOKUP、MATCH、INDEX
6	出題範囲 3 ③	3-3高度な日時と時刻の関数を使用する。 3-4でデータ分析を行う。
7	出題範囲 3 ④	3-5数式のトラブルシューティングを行う。 3-6簡単なマクロを作成する、記録する。 3-確認問題

8	出題範囲 4 ①	4-1高度な機能を使用したグラフを作成する、変更する。
9	出題範囲 4 ②	4-2ピボットテーブルを作成する、変更する。
10	出題範囲 4 ③	4-3ピボットグラフを作成する、変更する。
11	模擬試験①	模擬試験プログラム 1 の説明
12	模擬試験②	模擬試験プログラム 1 の振り返り
13	模擬試験③	模擬試験プログラム 1 のテスト
14	模擬試験④	模擬試験プログラム 2 の説明
15	模擬試験⑤	模擬試験プログラム 2 の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	マクロ実践Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	マクロ実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	増強改訂版 できる イラストで学ぶ 入社1年目からのExcel VBA (できるイラストで学ぶシリーズ)			出版社	インプレス

科目の基礎情報②

授業のねらい	VBAを活用し、効率的な業務を行う方法を学ぶ				
到達目標	・ 基本的なVBAのコードを読み理解することができる。 ・ 業務に生かせるコードを書けるようになる。				
評価基準	課題：70％ 平常点：30％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	マクロ実践Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	原田 貴史			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 はじめてのマクロ作り①	授業の内容の説明、VBAとは
2	第1章 はじめてのマクロ作り②	マクロの作成準備とエラーへの対処
3	第2章 オブジェクトとプロパティ①	オブジェクトの操作、データのクリアと転機
4	第2章 オブジェクトとプロパティ②	プロパティとメソッド、シート名の設定と並べ替え
5	第3章 変数を使った計算	変数と関数の使用、割合計算と入力データの整形
6	第4章 条件で処理を切り替える	IFを使った条件分岐、回答に応じてた処理の切り替えと会員ランク分け
7	第5章 オブジェクトの取得①	オブジェクト取得の基本と記述の簡略化、単票から台帳への転記と処理の効率化
8	第5章 オブジェクトの取得②	臨機応変にセルを取得する、台帳の新しい行に自動転記
9	第6章 処理を繰り返す	決まった回数だけ繰り返す、条件によって繰り返す、3行ごとの太字設定と会員入納状況のチェック

10	第7章 データをまとめるマクロ①	指定したフォルダーからブックを開く・全てのブックを順に開く、全支店のブックを順に開く
11	第7章 データをまとめるマクロ②	指定したフォルダーの全ブックのデータを統合する
12	第8章 CSVデータを整形しよう①	CSVのファイルを開いてブック形式で保存する。
13	第8章 CSVデータを整形しよう①	表の書式を整えよう・エラーの発生に対処する。
14	第9章 プロパティとメゾット①	データの入力と削除・セルの書式設定・セルの編集に関するプロパティとメゾット
15	第9章 プロパティとメゾット②	抽出と並べ替え・ワークシート操作・ブック操作に関するプロパティとメゾット

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	office応用Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	office応用Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	30時間でマスターExcel、30時間でマスターWord（1年生からの引継ぎ教材）			出版社	実教出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	実務の場面で実際に使われているofficeの機能について学ぶ。		
到達目標	PowerPoint、Word、Excelを用いた応用的な操作を学ぶ。		
評価基準	テスト：50％ 課題：20％ 平常点：30％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者		
関連資格	MOS Excel Expert		
関連科目	P C 基礎演習 A、 P C 基礎演習 B、マクロ実践Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田 俊也	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業内容の説明 パワーポイントの基礎（自己紹介の作成）
2	Excelを用いたデータベース処理①	オートコンプリート機能、表示形式の設定、ソート
3	Excelを用いたデータベース処理②	フィルター、グループ集計、ピボットテーブル
4	IF関数の基礎と応用	IF関数の基礎、AND・OR関数を使った処理、入れ子を用いた処理
5	IF関数の振り返し VLOOKUP	VLOOKUPの基礎、絶対参照を利用した検索、近似一致を利用した検索
6	VLOOKUPの振り返し HLOOKUP、INDEX関数	VLOOKUPの振り返し、HLOOKUP・INDEX関数の基礎
7	検索関数の振り返し 文字列操作関数	LEN、LEFT、RIGHT、MID、VALUE、FIXED、MOD関数
8	文字列操作関数振り返し グラフ作成基礎	文字列操作関数振り返し 縦棒グラフ、横棒グラフ、円グラフ
9	グラフの作成応用	3Dグラフ、複合グラフ、散布図、いろいろなグラフ

10	データベース関数	DSUM、DAVERAGE、DMAX、DMIN関数
11	データベース関数振り返り 条件付き集計、3D集計	○○IF、○○IFS関数、シートをまたいだ計算
12	全体の振り返り①	授業の内容振り返り
13	全体の振り返り②	授業の内容振り返り
14	差し込み印刷	はがき、レター、ラベルの作成
15	ExcelMOSExpert模擬問題	ExcelのExpertの模擬問題を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	office応用Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	office応用Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	Excel2019 ビジネス活用ドリル			出版社	日経BP

科目の基礎情報②

授業のねらい	実際に企業で使われているExcel処理を行い、現場で即戦力になれる力を身に着ける。		
到達目標	実践的なExcelの計算、集計、グラフ作成、データベースとしての操作を効率的にできるようなる。		
評価基準	テスト：50%、課題：20% 平常点：30%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	office応用Ⅰ、マクロ実践Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田 俊也	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 計算①	授業内容の説明 売上日報の作成
2	第1章 計算②	支店別売上実績表の作成 交通費精算所の作成
3	第1章 計算③	時間帯別客単価の分析 仕入予定表の作成
4	第1章 計算④	応用問題 月間勤務表の作成
5	第2章 集計①	在庫棚卸表の作成 販売期別売上表の作成
6	第2章 集計②	売上成績比較（クロス集計） 顧客別売上集計表の作成
7	第2章 集計③	全店経費集計表（シートの統合） 研修会申込記録
8	第2章 集計④	アンケートの集計（クロス集計） 応用問題 店舗別売上日報
9	第3章 グラフ作成	事業別売上高推移（棒グラフ）、商品別問い合わせ件数推移（折れ線グラフ）、社員構成比率（円グラフ）

10	第4章 自動化・マクロ①	受注一覧（自動入力） 発注一覧（自動入力）
11	第4章 自動化・マクロ②	会議室予約表（マクロの記録／登録） 顧客満足度調査
12	第5章 データベース①	社員名簿の作成 宿泊施設一覧の作成
13	第5章 データベース②	売上台帳の作成
14	全体の振り返り①	1～2章の振り返り
15	全体の振り返り②	3～5章の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	データベース応用		
必修選択	選択	(学則表記)	データベース応用		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	MOS ACCESS Expert 365・2019 Expert 対策テキスト & 問題集			出版社	FOM 出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	データベース基礎や他授業で身につけた知識を元に、ACCESSのMOSの実践的な資格対策を行う。		
到達目標	ACCESSのMOSを取得できる知識を身に着ける。		
評価基準	テスト50％　課題20％　平常点30％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上の者		
関連資格	MOS ACCESS Expert 365・2019 Expert 対策テキスト＆問題集		
関連科目	データベース基礎Ⅰ、データベース基礎Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田　俊也	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 出題範囲 1 ①	授業内容の説明 1-1データベースの構造を変更する。
2	出題範囲 1 ②	1-2テーブルのリレーションとキーを管理する 1-3データを印刷する、エクスポートする 1-確認問題
3	出題範囲 2 ①	2-1テーブルを作成する 2-2テーブルを管理する 2-3テーブルのレコードを管理する。
4	出題範囲 2 ②	2-4フィールドを作成する、変更する 2-確認問題
5	出題範囲 3 ①	3-1クエリを作成して実行する
6	出題範囲 3 ②	3-2クエリを変更する 3-確認問題
7	出題範囲 4 ①	4-1フォームのコントロールを設定する
8	出題範囲 4 ②	4-2フォームを書式設定する 4-確認問題
9	出題範囲 5 ①	5-1レポートのコントロールを設定する

10	出題範囲 5 ②	5-2レポートの書式設定する 5-確認問題
11	模擬試験①	模擬試験プログラム 1 の説明
12	模擬試験②	模擬試験プログラム 1 の振り返り
13	模擬試験③	模擬試験プログラム 1 のテスト
14	模擬試験④	模擬試験プログラム 2 の説明
15	模擬試験⑤	模擬試験プログラム 2 の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ITパスポート特講		
必修選択	選択	(学則表記)	ITパスポート特講		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	WEBデザイン・IT科	1	30
使用教材	令和06-07年 ITパスポート 試験によく出る問題集			出版社	技術評論社

科目の基礎情報②

授業のねらい	資格対策Ⅲや他授業で身につけた知識を元に、ITパスポートの実践的な資格対策を行う。				
到達目標	ITパスポートを取得できる知識を身につける。				
評価基準	テスト60%、小テスト40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ITパスポート				
関連科目	資格対策Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	コウ テイロ			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第1章 ストラテジ系	ITパスポート試験概要、授業内容の説明 企業と法務
2	第2章 ストラテジ系	経営と戦略
3	第3章 ストラテジ系	システム戦略
4	第4章 マネジメント系	開発技術
5	第5章 マネジメント系	プロジェクトマネジメント
6	第6章 マネジメント系	サービスマネジメント
7	第7章 テクノロジ系	基礎理論
8	第8章 テクノロジ系	コンピュータシステム
9	第9章 テクノロジ系	技術要素（前半）

10	第9章 テクノロジ系	技術要素（後半）
11	第10章 テクノロジ系	疑似言語
12	模擬試験	模擬試験
13	全体の振り返り①	授業の内容振り返り
14	全体の振り返り②	授業の内容振り返り
15	全体の振り返り③	授業の内容振り返り